

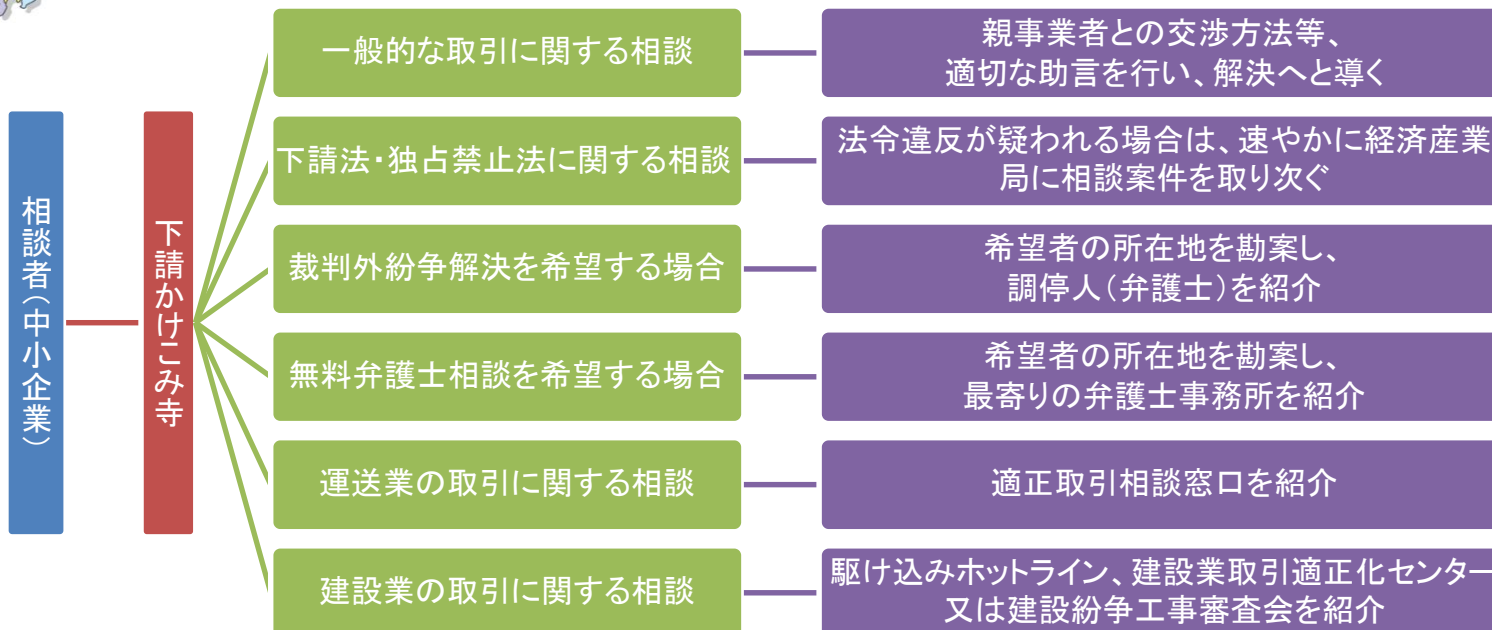
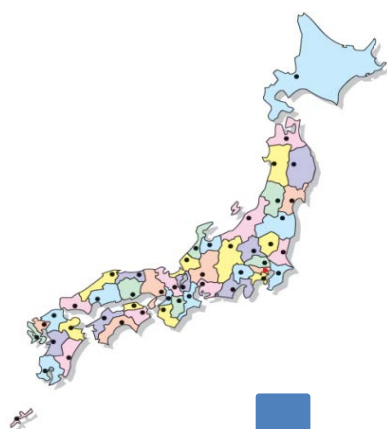
下請かけこみ寺について

2020年1月
経済産業省 中小企業庁 取引課

1. 下請かけこみ寺（事業概要）

- 下請取引や消費税の転嫁など企業間取引に係る各種相談への対応や裁判外紛争解決手続を実施。
- 各都道府県の公益財団法人である産業支援センター等の協力を得て、本部及び全国47都道府県に平成20年度から「下請かけこみ寺」を設置。

- （公財）全国中小企業振興機関協会が本部として全体統括。
- 企業間取引に関する様々な相談に相談員（全国50名）等が対応。
- 無料弁護士による各種無料相談（弁護士登録429名）
- 裁判外紛争解決（ADR）手続により簡易・迅速な紛争解決を支援。
- 相談費用や調停費用は無料。



2. 下請かけこみ寺（相談業務）

- 下請法、建設業法等の相談は多岐に渡り、相談件数は近年大幅に増加。
- 直近の相談件数は前年度比23%増（H29年度6,838件→H30年度8,381件）。
- 無料の弁護士相談は昨年度513件実施。

1. 相談内容分類

	下請法関係	建設業関係	運送業関係 (下請法除く)	その他	消費税関係	合計
平成25年度	858	1,075	153	2,896	-	4,982
平成26年度	898	1,170	159	3,149	97	5,473
平成27年度	678	1,295	175	3,613	64	5,825
平成28年度	812	1,395	204	4,130	42	6,583
平成29年度	997	1,560	211	4,055	15	6,838
平成30年度	1,150	1,814	365	5,019	33	8,381

※「その他」には、下請法が適用されない中小企業同士のトラブルの他、法令等に関する一般的な質問等も含まれる。

N=8,381

2. 弁護士無料相談件数

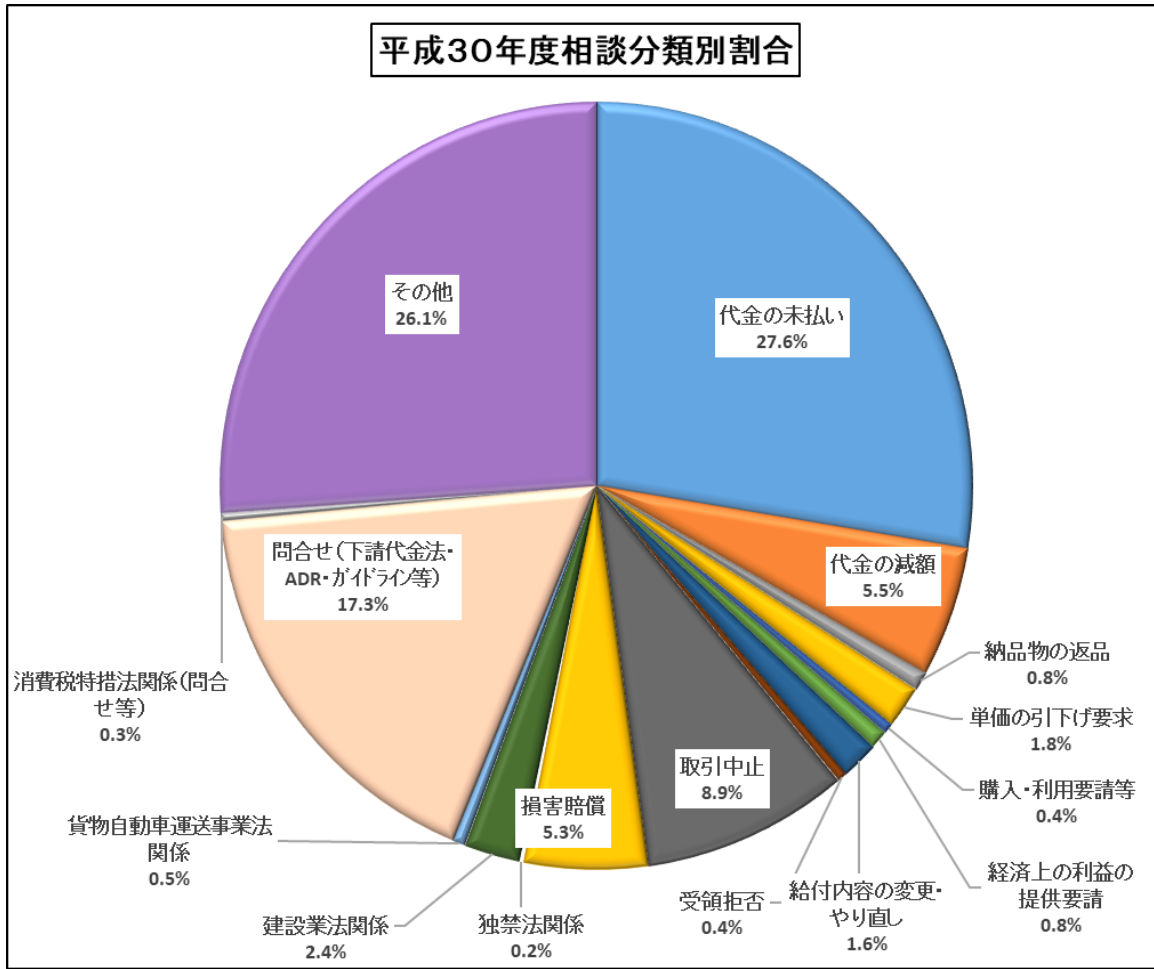
相談者の所在地に最も近い登録された弁護士を紹介、弁護士が踏み込んだ相談対応を実施。

平成25年度相談件数 : 711件
平成26年度相談件数 : 681件
平成27年度相談件数 : 743件
平成28年度相談件数 : 627件
平成29年度相談件数 : 601件
平成30年度相談件数 : 513件

※直近の弁護士無料相談数の減少については、相談者による法律に関する助言数の増加に伴う影響と史料。
(相談員による法的助言数H29年度 4,133件→H30年度 5,397件)

(参考 1) 相談件数の内訳 (平成 30 年度)

- 平成 30 年度相談件数で、最も多いのは、「代金の未払い (28%)」、「問合わせ (下請法・ADR等) (17%)」、「取引中止 (9%)」、「代金の減額 (5%)」と続く。



(参考2) 下請かけこみ寺 (活用事例)

<事例①> 無料相談活用事例 代金未払

【相談内容】

A社は、B社と売買取引していた。代金の支払時期がとくに過ぎているのにB社は、しばらく待ってほしいというばかりで、代金を支払ってくれない。

【助言と解決例】

支払期限を明記した「督促状」を配達証明付きで郵送してはどうかと助言した。

A社は、助言を踏まえB社へ配達証明付きで「督促状」を郵送したところ、その後、代金を支払ってくれた。

<事例②> ADR活用事例 (代金未払)

【相談内容】

A社は、B社から部品加工を請け負ったが、発注指示内容が明確でなかったため加工費用が30万円になった。B社にかかった費用を請求したが払ってもらえない。

【助言と解決例】

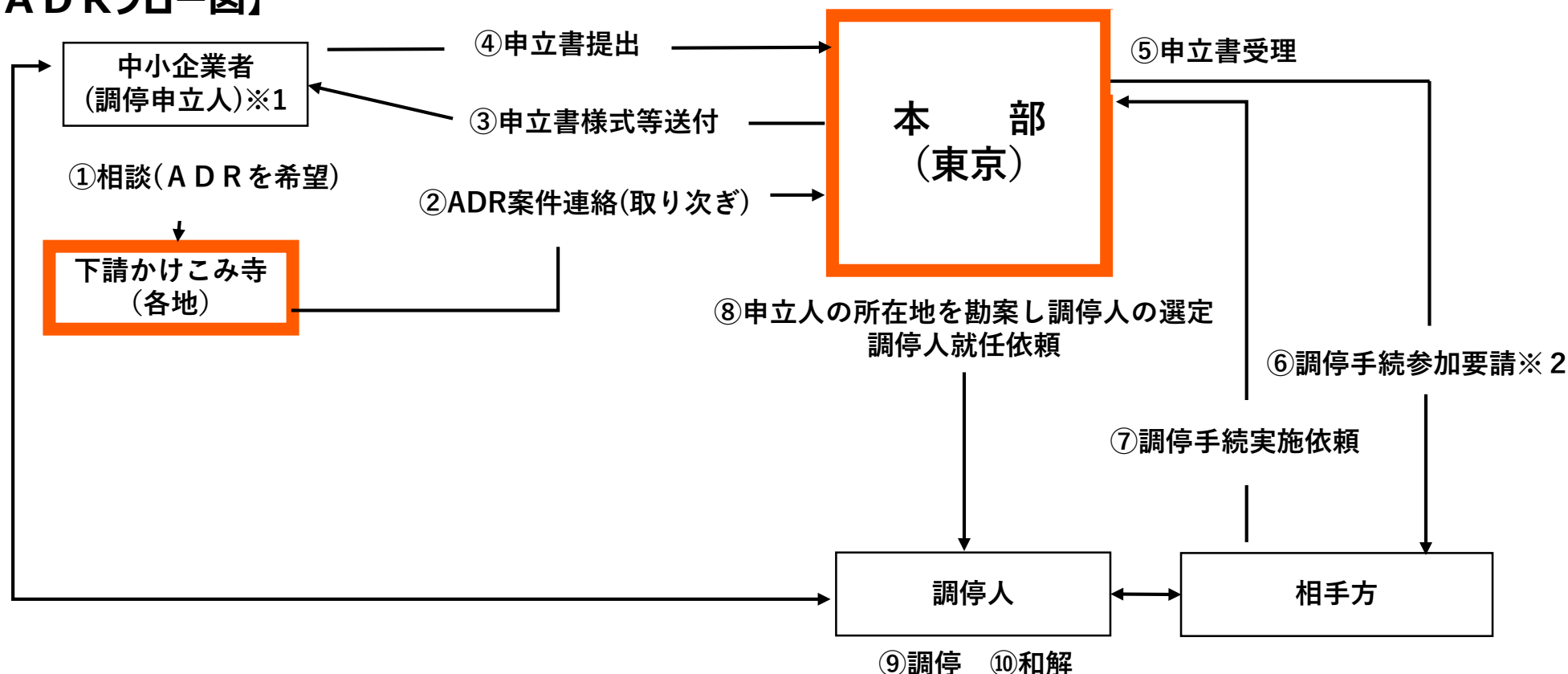
A社の申立に対してB社は、B社の指示通りに作業しなかったため高くなったと主張した。

加工に要した費用の額について争われ、調停人を交えて当事者が話し合い、2ヶ月の調停を経て、B社が解決金として20万円を支払うことで和解が成立した。

3. 下請かけこみ寺（裁判外紛争解決(ADR)手続き）

- 下請かけこみ寺では、取引関連の企業間トラブルを、裁判ではなく、**専門的な知識を有する公正な第三者（弁護士）**による調停によって、**簡易迅速に紛争を解決**。
- **ADRの対応として、全国に約130名の弁護士が登録**。調停費用は**無料**で実施。

【ADRフロー図】



※1 ADRを希望する中小企業者

(調停人名簿：全国の弁護士約130名)

※2 本部からの「⑥調停手続参加要請」に対し、相手方から「調停手続不参加回答書」の提出があった場合は、この時点で調停手続が終了となる。

(参考3) ADRの調停事案 (平成30年度)

- 平成30年度ADRの調停受理件数は18件。和解成立はサービス業等で4件。

No	調停申立書		申立概要	備考
	申立人	申立人外当事者		
1	サービス業	放送業・広告業	成功報酬の支払	調停不参加回答書
2	小売業	小売業	売買契約の無効・ペナルティ金の支払	調停不参加回答書
3	サービス業(デザイン)	製造業	デザイン料の一部未払いの支払	和解成立
4	サービス業(コンサルティング)	製造業	受託費の当初計画通りの支払	和解成立
5	建設業	建設業	工事代金の支払	調停不参加回答書
6	建設業	建設業	工事代金の支払	調停不参加回答書
7	運送業	運送業	売掛金の支払	調停不成立
8	不動産業・サービス業(イベント)	サービス業(介護)	WEB広告の履行と対価の支払	和解成立
9	小売業	建設業(コンサルティング)	請負作業損失額の支払	調停不参加回答書
10	建設業	小売業	工事代金の支払	調停不参加回答書
11	サービス業(デザイン)	サービス業(イベント)	情報成果物の対価の支払・値引き分の支払	和解成立
12	運送業	運送業	物流業務費用の支払	調停不成立
13	建設業	建設業	工事代金の支払	調停不参加回答書
14	建設業	建設業	工事代金の支払	申立取り下げ
15	飲食業	サービス業(アミューズメント)	支払請求・損害賠償金の支払	調停不参加回答書
16	飲食業	サービス業(アミューズメント)	支払請求・損害賠償金の支払	調停不参加回答書
17	情報通信業	製造業(医療)	追加費用の請求・契約の見直し	申立取り下げ
18	広告業	情報通信業	請負代金の支払請求	調停不参加回答書

■ ADRの調停件数

平成25年度 : 32件 受理
 平成26年度 : 9件 受理
 平成27年度 : 17件 受理
 平成28年度 : 21件 受理
 平成29年度 : 14件 受理
 平成30年度 : 18件 受理

平成30年度 ADRの調停件数内訳(参考)				
受理件数	和解成立	調停不参加	申立の取下げ	和解不成立
18件	4件	10件	2件	2件

4. 下請かけこみ寺におけるADR活用の課題と対応

- 下請中小企業にとって、ADRの活用は、取引停止を覚悟した上での行動であるのが実情。
- その上で、下請中小企業者にとってADR活用の3つの課題と下請かけこみ寺での対応を整理。
(下請かけこみ寺登録弁護士に対するヒアリング等に基づく)

1. 課題

①申立に係る困難さ

- 申立本人（下請中小企業等）だけでは、申立書の記載に当たり、記載すべき具体的な内容等の精査が困難。
- 人員も少ない下請中小企業が、日常業務をこなしながら、過去の業務日誌など膨大な資料の精査や必要となる資料の判断が困難。
- 訴える内容の法的根拠、論点等を精査し、内容証明の作成・送付まで、相当な時間を要する。

②手続に係る費用

- ADRに係るコストは申立人負担となるため、下請中小企業にとっては経済面で障壁となる。

③認知不足

- ADRはまだ認知度が低く、下請中小企業にとってはADRへの心的ハードルは依然高いまま。

2. 下請かけこみ寺の対応

①申立に係る困難さ ⇒ 下請かけこみ寺本部や相談員が書面作成等手続を支援し、敏速に処理

②手続に係る費用 ⇒ 調停費用が無料

③認知不足 ⇒ 相談員が事案に応じてADRの活用を紹介

様々な機会でのかけこみ寺でのADRの周知も実施

5. 今後の対応について

- 下請かけこみ寺は、下請中小企業にとって、取引等に関する相談の最も身近な窓口（入口）として、認知は広がりつつあるところ。
- 一方で、「相談内容等の情報整理・共有」、「相談行為に対する心的ハードルの低減」が課題。
- I T等の積極的活用を通じて、「きめ細やかな相談対応（ADRへの対応含む）」、「相談件数の増加」を実現するべく、来年度より新たな対応の検討に着手。

【検討項目案】

1. オンラインサービス（SNS、チャットボット等）を活用した相談の円滑化・質の向上

- 相談者が事前に、オンラインサービス（SNS、チャットボット等）を活用し相談事案の明確化・可視化を進めることで、相談の効率化・質の向上を図る（※現状、電話相談が太宗を占める（一部、WEB、メール、対面相談あり））。
- ①チャットボット等によるフローチャートに沿って、相談者を適切な判断（法的処理等）に導くこと。
- ②AI等を活用し、オンライン上で、下請法・建設業法等法令の基礎的判断を相談者自らでできるようなサービスの提供。

2. 相談内容、助言事項等を可及的速やかに相談窓口間で共有する仕組み作り

- 現在の紙による相談カードの作成・共有から、上記のオンラインサービスと連動し、「取引診断書」を作成。電子カルテ化し、随時・瞬時にデータ集計・共有できるシステムの構築。

3. 下請かけこみ寺、及びADRの更なる周知の徹底

- 下請かけこみ寺・ADRの周知をより一層図る。